

お金（その1）

【例題】

100円が3枚、50円が1枚、100円が1枚あります。このときお釣りがなく丁度払える金額は何通りありますか。ただし使わない硬貨があってもかまいません。

《解答》

（解説）表や樹形図を作成して、整理しながら考える。このサイトでは樹形図での解き方で解説していきます。

※樹形図が分からなければ、DIY算数の「場合の数」→「組み合わせ」→「樹形図」から確認してみてください。

樹形図を書くと

100円		50円		10円
0	—	0	—	10
				— 20
				— 30
	—	50	—	0
				— 10
				— 20
				— 30
100	—	0	—	0
				— 10
				— 20
				— 30
	—	50	—	0
				— 10
				— 20
				— 30

答え：15通り